

一般選抜 志願者数 9年連続トップ10入り



2024 3.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

津田沼校舎のC日程入学試験会場



一般選抜入試・志願者数の多い大学10校

大学名	2024年度		2023年度		増減数
	募集人数	志願者数	募集人数	志願者数	
1 千葉工業	1,242	134,880	1,291	134,753	127
2 近畿	4,303	133,789	4,287	135,025	▲ 1,236
3 明治	5,195	108,652	5,278	107,519	1,133
4 法政	4,209	102,169	4,211	99,051	3,118
5 東洋	5,125	97,789	5,066	82,544	15,245
6 早稲田	5,135	89,420	5,135	90,879	▲ 1,459
7 立命館	4,484	87,324	4,425	82,799	4,525
8 関西	3,619	71,458	3,614	76,330	▲ 4,872
9 日本	6,947	67,854	7,059	90,953	▲ 23,099
10 中央	4,230	65,046	4,249	66,757	▲ 1,711

代々木ゼミナール調べ(2/27更新)

2024年度志願者数

試験種	今年度	昨年度	増減数
	共通テスト利用(前期)	60,252	54,480
共通テスト利用(中期)	7,316	7,871	▲ 555
共通テスト利用(後期)	5,200	5,598	▲ 398
A日程入学試験	33,869	35,392	▲ 1,523
SA日程入学試験	14,645	15,095	▲ 450
B日程入学試験	13,743	15,965	▲ 2,222
SB日程入学試験	5,055	5,950	▲ 895
C日程入学試験	2,565	4,777	▲ 2,212
一般選抜計	142,645	145,128	▲ 2,483

(最終)

2月末、初の「全国1位」を記録

2024年度の入学試験は、3月5日のC日程入学試験を最後に全を終了した。一般選抜志願者ランキングでは14万2645人で9年連続トップ10入りを果たし、4年連続で全国2位の座をキープした。

今年度も共通テスト利用入試の検定料の免除や学科間の併願受験料免除などで受験生の経済的負担を軽減。また、受験のチャンスを広げるため、試験日前日まで出願を受け付けた。B日程試験が終了した段階の2月27日時点、受験のチャンスを広げるため、試験日前日まで出願を受け付けた。B日程試験が終了した段階の2月27日時点、受験のチャンスを広げるため、試験日前日まで出願を受け付けた。

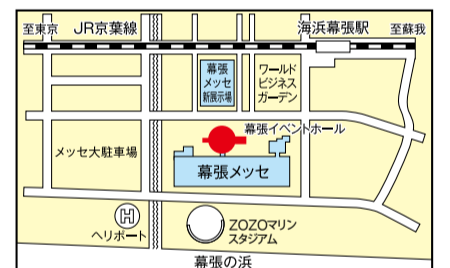
24年度の一般選抜志願者数は14万2645人で(昨年度比2483人減)となったものの、最多を記録した昨年に次ぐ結果となった。

点での中間集計志願者ランキングでは、近畿大の志願者数13万3789人を上回る13万4880人(左表参照)

本学 24年度入試



令和6年度 入学式



令和6年度の入学式は、4月5日(金)午前10時30分から、幕張メッセ・イベントホールで挙行されます(約40分)。
午前9時30分に開場、新入生・保護者の皆様は開式10分前までに入場してください。式典終了後、基調講演を行います(約1時間)。

生成AI 課題は?

朝日教育会議2023開く

千葉工業大学と朝日新聞社共催の「朝日教育会議2023」が3月9日、「生成AIの新たな展開」をテーマに都内の会場とインターネット・ライブ配信で開催された。第1部では本学の伊藤一学長が基調講演で「日本の倫理観や良さをどうやってAI(人工知能)に入れるかが重要」と強調し、急速に発展・普及する生成AIの現状と最新の研究を示しながら課題点などを解説した。

朝日教育会議は、朝日新聞が19年から全国の大学と共催している教育フォーラムで、直面する社会的課題を議論し大学から広く発信するのが目的。この日は第1部に続いて、第2部で筑波大システム情報系准教授を務める、本学変革センター客員研究員でもある岡端起氏が登壇。大規模言語モデル(LLM)の現状と未来について講演した。

第3部は、伊藤学長と岡氏が参加してパネルディスカッションが行われ、朝日新聞科学みらい部の竹野内崇宏記者がコーディネーターを務めた。

米国のOpenAI社が開発した「ChatGPT」の登場で急速に普及した生成AIは、あらゆる分野の常識を変えるという注目の一方、規制のあり方も議論されている。伊藤学長は「本学の根っこにも技術によって世界文化に貢献するといふものがある。日本のルーツと今の理工系とを上手にAIにつないでビジョンを描くのが重要な課題だ」と、倫理観や将来像の重要性を強調した。

女性たちの参加を祈る

第2部で講演した岡氏は「大規模言語モデルは多く出ていて、毎日新しいものを追うことだけでも大変」とした上で、13年に米国で公開された映画「Her」/世界でひとつの彼女の中でAIと人間が恋していくストーリーに触れ、「映画に出てきたAIアシスタントのような世界が現実に見える」と説明した。

また、海外の取り組みを紹介した上で「大規模言語モデルによってソーシャルシミュレーションの世界に新たな展開が見え始めている」と解説。「人間の社会をシミュレートできるようなシステムがすでにできてきている」と語り、「第3部のパネルディスカッションでは、人間のようないかに知能を持つAGIへの期待や不安、多様性のあり方などが議論された。伊藤学長は「最終チェックには当分、人間が必要だ」と強調した上で、「学生が日本語の本しか読まなければ、やはり米国では戦えない。ただ米国に比べて日本語を忘れてしまうと日本に貢献できない。英語と日本語の正しい比率によって日本に役立つ人間になる。LLMも同じことだ」と、日本人だからこそ創造できるものがあるとの考えを示した。

岡氏は、AIによる生産性向上を指摘しつつも「意外と使いこなしていない人が多い」と説明。「大規模言語モデルに関する観点が必要なのに、女性が入ることで今まであまり注目されなかった価値や技術が開発されるのは間違いない。工学部やコンピュータサイエンスに女性にきてもらうことを心から祈っている」とエールを送った。

朝日教育会議パネルディスカッションの様子

生成AI

新しい情報やデータなど、多様なコンテンツを生成する人工知能。22年11月に対話型AI「ChatGPT」が登場し、日々の生活や勉強、ビジネスで活用する場面が増えていく。急速な発展・普及に期待が集まる一方、誤情報の拡散や雇用への影響などリスクも指摘され、各国では規制に向けた動きも出ている。

NEWS CIT 電子サイトに移行

1996年以来お届けした印刷紙面の「NEWS CIT」は今号で終了。次号から電子サイト・本学ホームページのNEWS CITに移行します。それに伴い郵送は廃止させていただきます。引き続きご愛読ください。